

COVID-19 感染症患者病棟看護師の現場レポート

病棟チームリーダー

かわべ むつみ
河部 睦美

当院では昨年6月より新型コロナウイルス感染症患者さん受け入れ病棟を開設し、軽症から中等症の患者さんの受け入れを本格的に開始しました。昨年6月から今年2月までに261名の患者さんを受け入れました。看護師が新型コロナウイルス感染症に罹^{かか}らないように、且つ他の人に移さないために防護具を着用し、なるべく患者さんの飛沫^{ひまつ}を浴びないことや患者さんとの接触を減らすことが優先されます。制限された環境の中で、看護師は日常生活の援助から部屋・トイレ・シャワー室の清掃やゴミの処理、寝具交換、配膳など業務が多岐にわたることとなり一度にケアできる患者さん数は限られています。

そのような中でも第6波ピーク時には最大22人の受け入れ・看護を行いました。今まで当たり前に行っていた患者さんに寄り添う看護ができない所から始まり、“コロナ”という先行きの見えない病気に罹^{かか}り入院を余儀なくされる患者さんに対し、看護師としてどのような言葉を選び声掛けするのか、どのようにかかわることで不安を軽減して差し上げることができるのか、これまでの看護師経験に基づく知識・技術・知恵を総動員して考え、毎日の看護を行っています。また、ワクチン接種業務にも協力しています。

2月より新型コロナウイルス感染症の外来での診察が始まり、現在は重症化リスクのある患者さんが中心に入院されることになり、介助を必要とする患者さんが増えました。接触する頻度は高くなりましたが、現在も病棟スタッフは一人も感染することなく、看護業務が来ています。患者さんと接する中でデルタ株・オミクロン株に限らずワクチン未接種の方は発熱や頭痛などの症状が長引く傾向が見受けられます。

基本的な感染対策はもちろん継続するとともに、ワクチン未接種の方は接種について検討をお勧めします。



～新任医師のご紹介～

整形外科 峯 隼人(みね はやと)

循環器内科 桑原 弘幸(くわはら ひろゆき)

外科 野島 晃己(のじま こうき)

婦人科 山之内 僚(やまのうち つかさ)

泌尿器科 木村 想(きむら そう)

＜健康診断の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受け付けています＞
待ち時間が少なく、スムーズに受診できます。特にお仕事をしている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

電話 0765-22-1354（平日9:00～16:00）

FAX 0120-935-631

当院では24時間救急患者様の受け入れを行っております。症状を自覚した時は、我慢をせず、速やかな受診をお勧めします。

発熱等の症状のある方は、まずは電話で連絡をお願いいたします。

電話 0765-22-1280（病院代表）